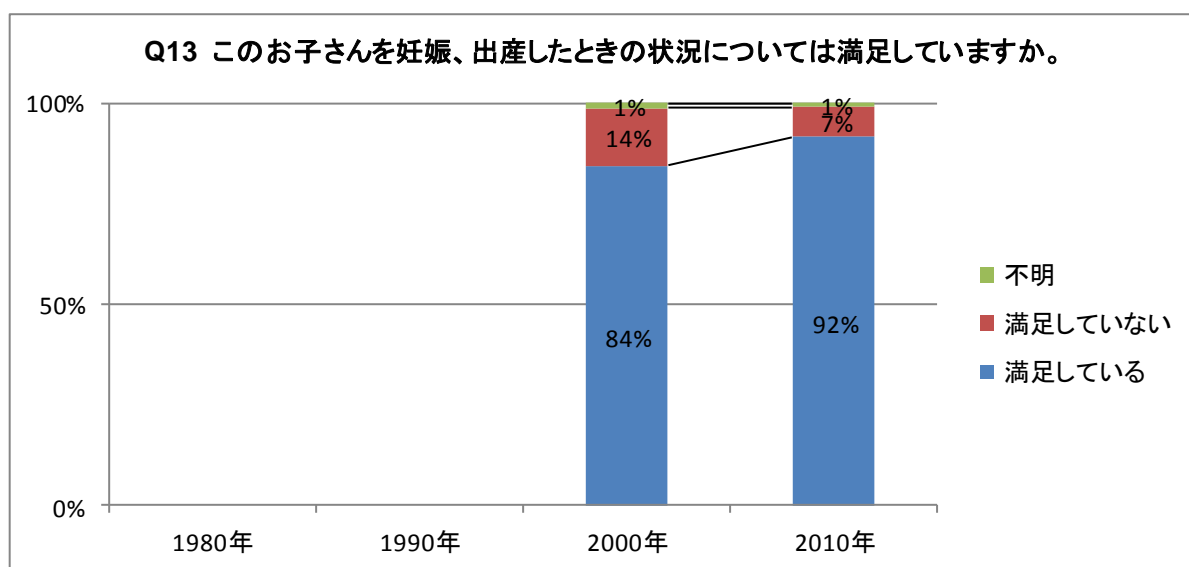


妊娠・出産に関する快適さ

(Q13～Q14)

Q13 このお子さんを妊娠、出産したときの状況については満足していますか。

	児の年齢区分												合計	
	1歳		1歳6か月		2歳		3歳		4歳		5-6歳			
満足している	947	92.1%	983	91.5%	727	91.8%	569	91.3%	591	91.1%	852	91.5%	4669	91.6%
満足していない	72	7.0%	84	7.8%	56	7.1%	46	7.4%	53	8.2%	62	6.7%	373	7.3%
不明	9	0.9%	7	0.7%	9	1.1%	8	1.3%	5	0.8%	17	1.8%	55	1.1%
合計	1028	100.0%	1074	100.0%	792	100.0%	623	100.0%	649	100.0%	931	100.0%	5097	100.0%



妊娠・出産について平成12年値と共に見ると、「満足している」ものは全体で84%→92%、していないものは14%→7%であり、改善された。しかし依然、7%を超える人が「満足していない」ことは課題として検討の余地がある。(Q13)

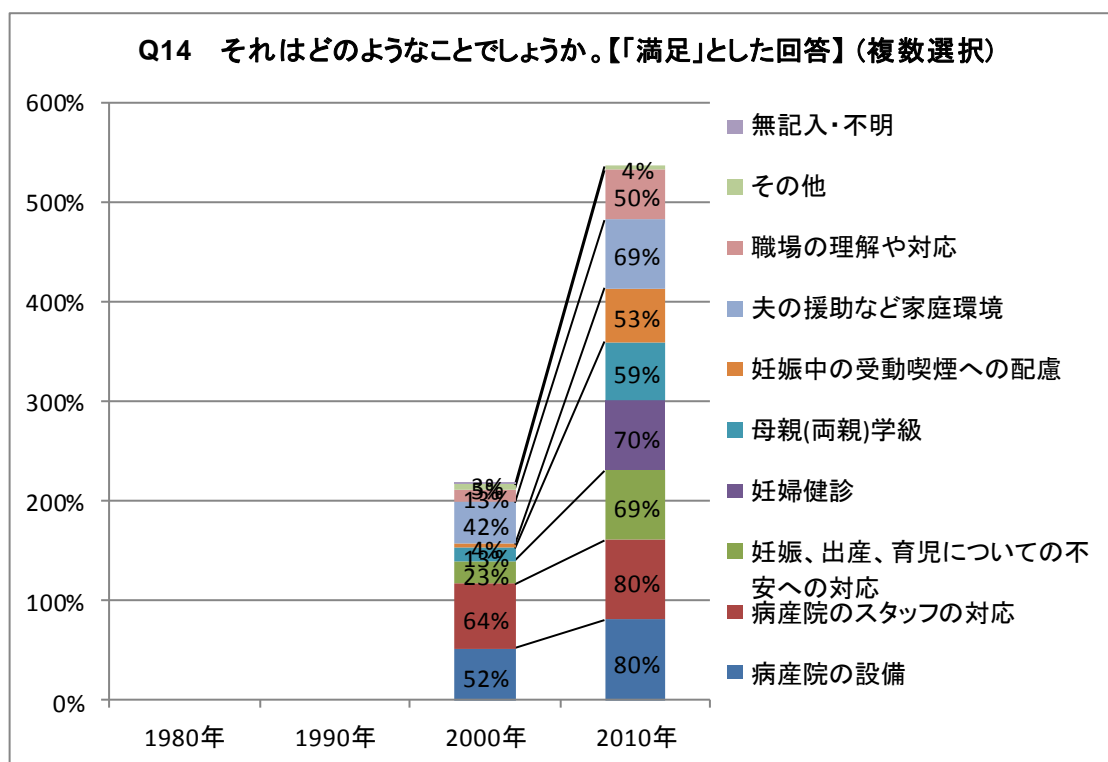
妊娠出産について満足しているものの割合は、健やか親子21策定時(平成12年幼児健康度調査値)に続いて、中間評価(2005年)で91.4%、第2回中間評価(2009年)で92.6%とあがってきていることが分かる。健やか親子21の目標値が100%であることから、さらなる改善が求められている。2005年に著明な改善が見られてからはやや頭打ちの印象があり、検討課題といえる。

「健やか親子21」第2回中間評価報告書 平成22年3月 「健やか親子21」の評価等に関する検討会

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/03/s0331-13a.html>

Q14 それはどのようなことでしょうか。【「満足」とした回答】（複数選択）

	児の年齢区分										合計			
	1歳		1歳6か月		2歳		3歳		4歳				5-6歳	
病産院の設備	829	80.6%	892	83.1%	644	81.3%	502	80.6%	515	79.4%	710	76.3%	4092	80.3%
病産院のスタッフの対応	843	82.0%	877	81.7%	650	82.1%	491	78.8%	516	79.5%	715	76.8%	4092	80.3%
妊娠、出産、育児についての不安への対応	716	69.6%	779	72.5%	572	72.2%	425	68.2%	441	68.0%	606	65.1%	3539	69.4%
妊婦健診	734	71.4%	767	71.4%	570	72.0%	423	67.9%	459	70.7%	625	67.1%	3578	70.2%
母親(両親)学級	595	57.9%	663	61.7%	480	60.6%	361	57.9%	392	60.4%	526	56.5%	3017	59.2%
妊娠中の受動喫煙への配慮	540	52.5%	599	55.8%	421	53.2%	324	52.0%	337	51.9%	480	51.6%	2701	53.0%
夫の援助など家庭環境	734	71.4%	771	71.8%	562	71.0%	429	68.9%	429	66.1%	614	66.0%	3539	69.4%
職場の理解や対応	543	52.8%	562	52.3%	397	50.1%	310	49.8%	295	45.5%	418	44.9%	2525	49.5%
その他	36	3.5%	46	4.3%	33	4.2%	26	4.2%	37	5.7%	31	3.3%	209	4.1%
ケース合計	1028	100.0%	1074	100.0%	792	100.0%	623	100.0%	649	100.0%	931	100.0%	5097	100.0%

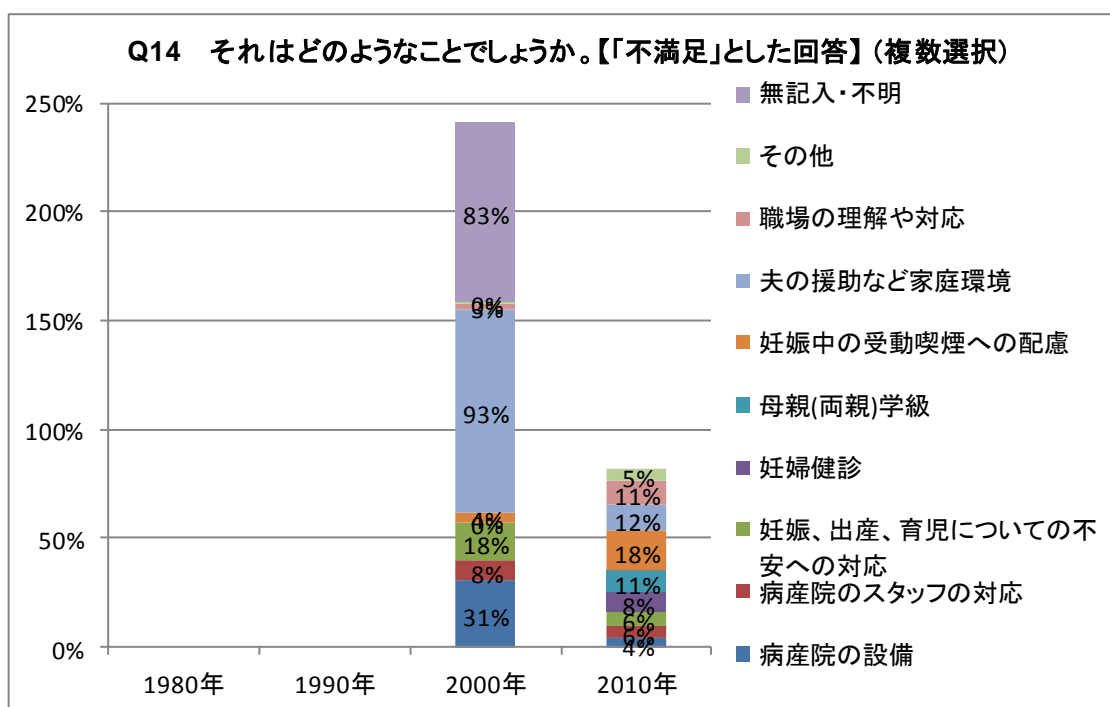


満足しているその内容は、「病産院スタッフの対応」65%→80%、「病産院の設備」52%→80%、「夫の援助などの家庭環境」42%→69%、「妊娠・出産・育児についての不安への対応」23%→69%、「母親(両親)学級」13%→59%、「職場の理解や対応」13%→50%の順であり、この10年で大きな改善がみられた。さらに今回調査より新たに加えられた項目である「妊婦健診」は70%という高い満足度を示した。設備などのハード面だけではなく、スタッフの対応、不安への対応、家庭や職場の理解など、人との関わりのありようが満足をもたらすことに注目したい。

少子化が進み、参加施設の不足などが問題となっている中で、施設の設備や対応等の満足感が増大していることは注目される。職場の理解や、受動喫煙に関しては、法律や制度の効果と捉えることも出来る。夫の援助などが改善しているのは、厚生労働省の働きかけ等を始めとして、社会通念などが変化してきている背景が想像される。

Q14 それはどのようなことでしょうか。【「不満足」とした回答】（複数選択）

	児の年齢区分												合計	
	1歳		1歳6か月		2歳		3歳		4歳		5-6歳			
病産院の設備	45	4.4%	39	3.6%	32	4.0%	24	3.9%	29	4.5%	44	4.7%	213	4.2%
病産院のスタッフの対応	54	5.3%	70	6.5%	41	5.2%	41	6.6%	41	6.3%	49	5.3%	296	5.8%
妊娠、出産、育児についての不安への対応	66	6.4%	65	6.1%	52	6.6%	41	6.6%	43	6.6%	63	6.8%	330	6.5%
妊婦健診	82	8.0%	95	8.8%	74	9.3%	60	9.6%	38	5.9%	77	8.3%	426	8.4%
母親(両親)学級	116	11.3%	118	11.0%	91	11.5%	66	10.6%	57	8.8%	91	9.8%	539	10.6%
妊娠中の受動喫煙への配慮	179	17.4%	200	18.6%	156	19.7%	114	18.3%	108	16.6%	145	15.6%	902	17.7%
夫の援助など家庭環境	114	11.1%	126	11.7%	103	13.0%	75	12.0%	87	13.4%	111	11.9%	616	12.1%
職場の理解や対応	105	10.2%	113	10.5%	92	11.6%	75	12.0%	87	13.4%	111	11.9%	583	11.4%
その他	68	6.6%	58	5.4%	38	4.8%	32	5.1%	35	5.4%	46	4.9%	277	5.4%
ケース合計	1028	100.0%	1074	100.0%	792	100.0%	623	100.0%	649	100.0%	931	100.0%	5097	100.0%



一方、満足していないもののうち、「妊娠中の受動喫煙への配慮」18%、「夫の援助などの家庭環境」12%、「職場の理解や対応」11%が目立っており、今後のさらなる改善が望まれる。(Q14)

「妊娠中の受動喫煙への配慮」、「夫の援助などの家庭環境」、「職場の理解や対応」は、満足していると答えたものも増えている項目であり、満足していると感じる場合と、不満足と感じる場合が混在していることが考えられる。状況に格差があることが示唆される。